



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会

4月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2013年(平成25年) 4月1日(月)

NO. 140

## 発頭還元の原理

振り子の姿を思い浮かべてください。右に大きく振られた錘おもりは、必ず左に振り返します。物事がすべてこの振り子と同じように、相反する二つの方向に動いていて、発する方と還る方に運動していることを「発頭還元の原理」といいます。

入ったものは出るし、出たものは入る。取れば取られ、与えればまた与えられる。自然界を眺めても、樹木は幹や枝葉がまつすぐに大空へ伸び広がっていく反面、根は地中に深くもぐりこんでいます。降った雨は水蒸気となって天へ帰り、雲となつて再び地表に降りそそぎます。月の満ち欠け、潮の干満、大地の隆起と陥没、春の生成と秋の収斂……。

人の身体でも、吐く息と吸う息があり、動脈は遠心的に、静脈は求心的に血液を運んでいます。成長があれば老いがあり、栄華を極めても、いつかは没落して朽ちてはる。栄枯盛衰は世の常ではありませんか。

「発頭還元の原理」は取り立てていつまでもないほど、あたりまえのことでしょう。ところが人間の日常生活では、このあたりまえのことわりが意外に見捨てられています。儲けることばかり考えて

金銭の出し惜しみをしている、知らぬ間に経営が苦しくなる。威張り高ぶっている、人から軽蔑され、思わぬしつぺ返しを食う。成功に酔いしれていると、つかの間に危機に陥る。「発頭還元の原理」を自覚していると、このような愚はくりかえさないでしょう。

己を顧みず、一意専心に他人のため社会のために尽くすとき、その純粹さと努力に正比例して、大きな幸福が得られるものです。世は、発頭の波動が織りなし、人生は吸引放射のことわりに則して展開される一大ドラマにほかなりません。

(『純粹倫理入門より』)

「最初失敗すること、これは尊い月謝である。喜んで又改めてとりかかると、いつか大きい成功の栄冠がかがやく」と丸山敏雄は説きます。失敗を「喜んで」受け止め、失敗に学び、新たな気持ちで取り組む姿勢を「発頭」することで、成功という栄冠が「還元」されてくる。――平素が肝心な

(『七つの原理』より)

## 倫理文化講演会

日時

五月十九日(日)午後一時

場所

ホリデーイン・トレーニング

講師

生涯局 教育企画部 部長

和田毅

テーマ

「母の品格・家庭の太陽」

― 家族関係を良好にする心の持ち方について考える ―

倫理文化講演会まで二ヶ月

足らずとなりました。今年はロスを管轄して下さっている教育企画部の和田毅部長の講演です。テーマは家庭の中の

母親に焦点を合わせました。暖かい家庭、和やかな家庭は家族を幸せにします。

今からお友達・知人をお誘い下さい。どなたにもお声をかけて、たくさんの方に講演会に来て頂きましょう。

倫理文化講演会の目的は、たくさんの方に来て頂いて広く倫理を知ってもらうことにあります。来る、来ないは相手が決めること、私達はまず、お声を掛けることから始めましょう。

和田毅 教育企画部部長

プロフィール

1961年

静岡県小田原市に生まれる

1989年 4月

社団法人 倫理研究所へ入所

2000年 9月

法人局普及事業部…各倫理

法人会の普及・教育にあたる

2010年 9月

生涯局教育企画部部長

日本家庭教育学会常任理事・幹事

新刊図書

『おかあさん』

丸山敏秋著 (至純な母性のよみがえりを求めて)

わが命の元、そして子を持つ親として「おかあさん」の本質を認識し直します。それは、「自己を超越した無尽蔵の愛」。

『葉』の持ち方

朝の集いでの『葉』の持ち方が気になります。姿勢を正してひじを脇につけて両手でしっかりと持ちましょう。先輩会員は富士研修所の講習に参加して

『葉』の持ち方を学んでいます。倫理は姿勢、心を重視します。先輩を見習いましょう。

おめでとうございます

『しきなみ』三月号

入選 門園美枝子 郡蛍集（東京・海外）  
 入選 ホン史子 々 々  
 入選 橋高比呂美 飛雲集（西東京・海外）

『秋津書道』三月号 競書

二席 滝川政和 人の部（東京）  
 三席 堀井幸江 高等部 々  
 入選 長谷川公子 高等部 々  
 入選 草野律子 一般部（東京）行書  
 入選 前田グレース 々 々  
 入選 竹内康子 々 々 楷書  
 入選 ノーリスてるみ 々 々 々

調和体

一席 滝川政和 芸術部（人の部）  
 三席 咲田静子

滝川政和さんの作品

倫研新報二月号の九ページ「今月の書」に写真掲載されています。ご覧になりましたか。



矢口祐司先生の日程

四月六日（土）午前十時～十二時  
 秋津書道

—文化講演会用展示作品—  
 六日（土）午後一時半～三時半  
 しきなみ短歌会

七日（日）懇親バス旅行  
 カールスバッドのお花畑、ワイナリー、パチャンガ

（モーニングミックサーはバスの中  
 でする予定—『葉』第三条—）  
 矢口先生の行事には是非ご参加下さい

文化講演会用展示作品

しきなみ短歌の展示作品の締め切りは  
 四月十四日（日）です。草野律子短歌チ  
 ーフまで届けて下さい。

倫理文化講演会に参加を！

書道、短歌の皆様、お友達と一緒に是非、講演を聞きにお出下さい。

しきなみ短歌

愛犬がまめまきの豆食べ始め負けない  
 ようにみんなで拾う 松元依子  
 ごひいきの野球選手を皆覚えテレビ観  
 戦母の解説 大川敏子  
 次々と体のあちこち痛み始め手術受け  
 つつ老いを思えり 滝川歌子

富有柿かれ葉一枚残さずに裸木となり大寒  
 むかえ 奥本洋子

雲と海を茜にそめて昇る陽に平穩ねがう年  
 の始まり 杉野和子

次々とドアプライズに胸はずみ歓声あがる  
 特賞テレビ 長谷川公子

クブチ沙漠に毎年行くと文に告ぐ砂丘に立  
 ちし彼の背思いぬ 塩出笑子

真夜中にふと目がさめてなみだする亡き夫  
 おもい眠りにかえる 橋高比呂美

園芸に水泳ポーカー・ボーリング喜寿を迎  
 えて多忙なジョイス 伊澤潤子

わがままな我が人生を省みて今人様に恩返  
 す時 梅本豊造

新春をうから揃いて先ずお屠蘇夫高らかに  
 乾杯の音頭 梅本和子

元旦の穏やかな陽に南天の円らな朱実（あ  
 けみ）ひときわ鮮やく 門園美枝子

見下るせば宇宙に浮ぶ青き地球エンデバ  
 ーが帰る唯一の星 ホン史子

チャットの日孫に向かいて話す夫聞いたこ  
 とないまーるい声なり 松永典子

住む部屋も車も自分でリリースして自立しよ  
 うと一心の息子は 草野律子

大好きな画家の名前が分らずに病院ゆくと  
 びサインをみつめ 摺木洋子

命かけ花は咲きしよと聞かされて常よりし  
 っかり桜見つむる 伊勢田豊

「希望の鐘商店街」を歩みゆく天に澄みた  
 る鐘の音聞きつつ 矢口裕司